



学校だよりNO 3 令和4年4月15日 児童数 477人

薫っ子Ⅱ



文責 校長 古川 次男

授業の充実と学力の向上を目指して

令和4年度は、204日の授業日があります。その中でも、学校生活の中で一番多くの時間を費やすのが授業時間です。4～6年生の教科等の授業時間数は、1015時間あります。この1時間1時間の授業の積み重ねが、子どもたちの学力の向上につながると考えて、本校では努力を重ねているところです。

昨年度は、ICT活用を手段として、学力の向上を目指して授業実践に取り組んでまいりました。「互見授業」と称して、先生方がお互いの授業を参観しながら、その良さを取り入れたり、工夫すべき点を交流し合ったりしてきました。



【ふくしま学力調査に取り組む】

昨年度は、郡山市から1人1台のタブレットを配備していただき、授業等でその活用を図ってきたため、使い慣れた児童を多く目にするできるようになりました。子どもたちの吸収力の速さには、目をみはるものがあります。

朝の学習で、教師の配信した問題に取り組む児童。自分の考えを提出し、お互いの考えをタブレットの中で確認し合う児童。アサガオの花や葉の様子を写真にとって、その成長を確認する児童。音読の発表を動画撮影する児童。そして、それを評価する教員。まさに、タブレットは、私たちに様々な学習法を見出させてくれました。

今年度も、子どもたちの学力の充実を目指して日々の授業に取り組んでいこうと考えております。12日（火）の放課後には現職教育全体会を開き、今年度の取り組み方を全職員で話し合いました。

「自らの考えを伝え・深め、確かな学力を身につけていく子どもの育成～ICTを活用した授業づくりを通して～」という研究主題を掲げ、下記の8つの授業改善の視点を基に授業に取り組んでいきます。

- 【視点①】課題提示の工夫、学習意欲の喚起
- 【視点②】見通しの持たせ方の工夫
- 【視点③】アイテム等の活用による自力解決の推進
- 【視点④】ペアやグループによる交流の場の充実
- 【視点⑤】思考の共有化の工夫
- 【視点⑥】個々の学びの価値付け
- 【視点⑦】学びの振り返りの場の充実
- 【視点⑧】活用学習への取り組み、予習や復習などの家庭学習との連携

個人個人に応じた学びも必要であるし、友だち同士のつながりの中での学びも必要です。適時適切な学びを構築していけるよう、発達段階に応じた授業に心がけていきたいと思えます。なお、家庭学習へのご協力もよろしくお願いいたします。